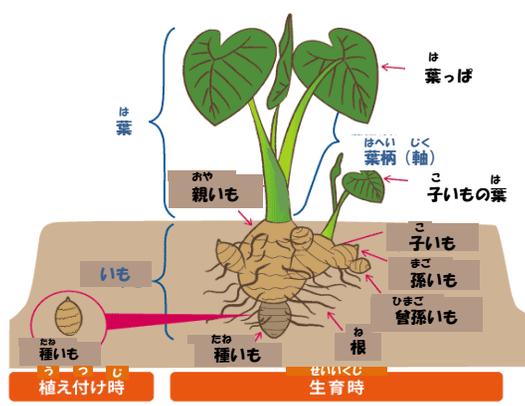


はつかいち た もの きゅうしゆく
廿日市のおいしい食べ物を給食でつかってるよ！

たべもの新聞

Vol.26 里いも

平成28年11月14日 廿日市学校給食センター



かねもと 兼本さん

さと さいまい ようす しょうかい
里いもの栽培の様子を紹介します
あさはら かねもと
—浅原の兼本さん—

きゅうしゆく 給食センターでは、10月下旬ごろから浅原で育てられた里いもを使っています。今回は、里いもを作られている兼本さんの畑に行き、種いもを植える頃から収穫までの様子取材しました。

①種いもを植える【4月4日】

たね 種いも…品種は「石川早生」だそうです。



たね 種いもを植えるため穴を開けています。



あけた穴に種いもを植えていきます。



里いもは連作を嫌うそうです。なので、去年は、田んぼだったところに里いもを植えています。里いもは、地中深くへ根が伸びていくので深めに耕し畝をたてておいて、種いもを植えるそうです。

②芽が出る頃【6月2日】



芽が出て、少し大きくなった頃です。

③芽かき【7月7日】



夏場は、芽かき(わきから出てきた芽をとる)をし、かん水(水やり)、草とりの作業を行うそうです。里いもは、乾燥が最も苦手なので、夏場の雨の降らない時は、土が乾かない様にしっかりと水をやるそうです。

④収穫【10月26日】

上の葉と茎の部分を切り落として掘っていきます。



収穫は、注文があった量だけを、全て手作業で掘っていくので大変です。取材に行った日は、雨が降った後だったので特に大変そうでした。「今年は、9月、10月と雨が多かったので例年に比べて大きい里いもが出来てるような気がします。」と話して下さいました。